

子どもたちが「生きる力」を
育むことができる学校づくりに向けて

市立小中学校の 適正規模化・適正配置を推進します

教育総務課(☎27875)



市教育委員会では、子どもたちにとって望ましい教育環境を整備するため、小中学校の適正規模化・適正配置を計画的に進めており、「伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置基本計画(案)」を策定しました。

この計画案を知っていただくために地区説明会を開催するとともに、広く市民の皆さんのご意見をお聞きしながら、今後計画をまとめていくこととします。

計画策定の背景

市教育委員会は、「子どもがかがやき学びあう学校」を目指し、子どもたちの「社会で自立して生きていく基礎を育てる」ことを目標の一つとしています。

学校は、知識や技能の習得と併せて、子どもたちが集団の中で学習や生活をしながらさまざまなことを学ぶ場であり、その経験を通して豊かな人間関係を築き、主体性や社会性を身に付ける場でもあります。

そのためには、学校は一定規模を保つことが必要ですが、近年の少子化の進行により、伊勢市内の小中学校でも小規模化が進んでいます。

市内の小中学校の児童・生徒数は、30年ほど前と比べてほぼ半減しています。この間、学校数は変わっていないため、小規模校化が顕著となっています。

平成23年度は、小学校24

校中、全校児童数が1000人未満の学校は3校、各学年1学級編成の学校が9校あります。また、中学校も12校中、全校生徒数が200人未満の学校は3校、各学年2学級以下の学校は4校という状況です。

この傾向は今後も続く予想され、将来的に教育環境へのさまざまな課題が生じることが考えられます。

また、東海・東南海・南海3連動地震の発生予測や東日本大震災の教訓を踏まえ、沿岸部の学校の安全対策を早急に講じていく必要もあります。

そこで、市教育委員会では、子どもたちにとって望ましい教育環境を整備する観点から、小中学校の適正規模化・適正配置を計画的に進めていきます。

次ページ以降で、計画案の概要と地区説明会・意見募集についてお知らせします。

計画案はこうなっています

小中学校の適正規模・適正配置の基準

住地から6 km以内に配置
◆適正配置に当たって考慮すべき点

市教育委員会は、昨年12月に「伊勢市立小中学校の将来構想に係る検討委員会」からの提言を受け、地域での説明会や意見交換会を経て、「伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置基本計画(案)」を策定しました。計画案では、「小中学校の適正規模及び適正配置の基準等」を次のとおりとしています。

◆適正規模

- 1学級の児童・生徒数は、30人〜35人を上限
- 学級数は、全校で12〜18学級(1学年当たり小学校は2〜3学級、中学校は4〜6学級)

◆適正配置

- 小学校は、原則として居住地から4 km以内に配置
- 中学校は、原則として居

- 地震、津波などの災害に対する児童・生徒の安全・安心の確保、地域の防災拠点としての学校の機能強化を図るため、高台への設置や校舎の高層化を図る
- 小学生については、通学の負担を考慮し、学校から半径2 kmを超える区域は、市の負担でスクールバスなどの通学手段を講じ、中学生も通学距離が6 kmを超える区域は同様の措置を講じる

◆適正配置の方法

- 学校の統合を基本とし、地域の実情にに応じて通学区域の見直しを併せて行う

◆計画の目標年次

- 小規模化の状況や津波対応など、安全・安心の確保の観点から緊急度を測り、3期に分けて進める

適正規模の基本的な考え方

◎児童・生徒が、集団生活の中で多様な価値観を持つ仲間と交流し、豊かな人間関係を築きながら社会性を身に付けていくためには、一定規模の集団が必要

◎クラス替えは、新たな人間関係の中で自分自身を再発見し、個性を伸ばす機会でもあり、1学年1学級では友人関係や学級内での序列の固定化を招く懸念があるため、各学年に複数の学級が必要

◎個に応じたきめ細やかな指導をする少人数学習や習熟の程度に応じた学習など、思考力、判断力、表現力を養う多様な学習形態を取り入れた教育が可能になる学校規模が必要

◎児童・生徒の興味や関心に応じ、多様なクラブ活動・部活動の中から選択を可能にするためには、ある程度の児童・生徒数と教職員数の確保が必要

地区説明会の開催

市教育委員会では、上記の計画案について、今後、地区説明会などを通じて広く市民の皆さんからの意見をお聞きし、計画をまとめていくこととします。

次のとおり地区説明会を開催します。ご都合の良い日にご参加ください。

開催日	開催場所
12月20日(火)	中島小学校
12月21日(水)	早修小学校
1月10日(火)	佐八小学校
1月11日(水)	上野小学校
1月12日(木)	二見老人福祉センター
1月13日(金)	豊浜東小学校
1月16日(月)	豊浜西小学校
1月17日(火)	北浜地区コミュニティセンター
1月18日(水)	小俣公民館
1月19日(木)	港中学校
1月20日(金)	大湊地区コミュニティセンター
1月23日(月)	浜郷地区コミュニティセンター
1月24日(火)	東大淀町民会館
1月25日(水)	五十鈴中学校
1月26日(木)	四郷地区コミュニティセンター
1月27日(金)	小俣北部公民館

開催日	開催場所
1月30日(月)	宮山小学校
1月31日(火)	船江会館
2月1日(水)	御園公民館
2月2日(木)	城田地区コミュニティセンター
2月3日(金)	宇治公民館
2月6日(月)	市役所東庁舎・4階4-3会議室
2月7日(火)	厚生小学校

※時間は、いずれも午後7時からです。

学校適正配置の実施計画(案)

※対象校の欄のかつこ内は、平成23年度の通常学級の数

中学校区名	区分	対象校	目標年次など	統合場所など
宮川・沼木	小学校	早修(6)・中島(11)・佐八(6)	第1期	中島小学校の場所
		上野(6)	存続	複式学級時に統合
二見	小学校	宮川(9)・沼木(3)	第1期	宮川中学校の場所
		二見(18)・今一色(6)	第1期	光の街の高台
港・御園	小学校	二見(9)	存続	地理的状况により存続
		神社(12)・大湊(6)	第1期	両校の間へ高層校舎を新築
豊浜・北浜	小学校	浜郷(12)・御園(19)	存続	
		港(12)・御園(10)	第2期以降	両校の間へ高層校舎を新築
小俣・城田	小学校	豊浜東(6)・豊浜西(7)	第1期	豊浜中学校の場所に高層校舎を新築
		北浜(6)・東大淀(6)	第1期	両校の間へ高層校舎を新築
五十鈴・倉田山・厚生	小学校	豊浜(6)・北浜(6)	第1期	両校の間へ高層校舎を新築
		小俣(23)・明野(19)・城田(12)	存続	
五十鈴・倉田山・厚生	小学校	小俣(15)・城田(6)	第2期以降	小俣中学校の場所
		進修(6)・修道(12)・四郷(7)	第2期以降	五十鈴中学校の場所
	中学校	明倫(15)・宮山(9)	第2期以降	明倫小学校の場所
		有緝(20)・厚生(13)	存続	
中学校	五十鈴(11)・倉田山(13)	第2期以降	倉田山中学校の場所	
	厚生(14)	存続		

学校適正配置の実施計画(案)

「小中学校の適正規模及び適正配置の基準等」を基に、市の小中学校の現状を踏まえて、「学校適正配置の実施計画(案)」を策定しました。(左表参照)

また、統合後の学校の跡地利用については、地域の防災拠点などとして活用されるよう調整を図っていきます。

計画の目標年次

第1期 (平成24～28年度)	<ul style="list-style-type: none"> 統合対象のいずれかの学校が各学年1クラスである場合 沿岸部に位置する適正規模に満たない学校
第2期 (平成29～33年度)	<p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 統合対象のいずれかの学校が、適正規模に満たないが2クラス以上の学年がある場合 本来は第1期で適正配置を行うべきであるが、第2期内に近接の学校が適正規模を下回る可能性がある場合 <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 統合対象のいずれかの学校が、適正規模に満たないが各学年2クラス以上ある場合
第3期 (平成34年度以降)	<ul style="list-style-type: none"> 本来は第2期で適正配置を行うべきであるが、統合により適正規模を上回る場合



計画案への意見を募集

募集期間 12月15日(木)～平成24年2月17日(金)(必着)

提出方法 住所・氏名・電話番号・意見を記入(様式は自由)し、直接または郵送・ファクス・Eメールで教育総務課(〒519-0592 小俣町元町540、FAX 238641、アドレス kyo-sounmu@city.ise.nie.jp)へ

案の閲覧

計画案は、意見募集の間中、教育総務課、総務課、市役所本館・1階市民ホール、各総合支所地域振興課、各支所、伊勢図書館、小俣図書館、生涯学習センターいせトピア、二見生涯学習センター、いせ市民活動センター、市営庭球場、小俣総合体育館、御園B&G海洋センターでご覧いただけます。また、市のホームページにも掲載します。

これまでの経緯

■平成21年5月

外部の有識者などで組織する「伊勢市立小中学校の将来構想に係る検討委員会」を設置し、2年間の協議を経て、平成22年12月に適正規模・適正配置について提言を受ける

■平成23年2月～4月

小学校区ごとに提言概要説明会を開催

■平成23年7月～11月

提言内容や説明会などで寄せられた意見、東日本大震災の教訓を踏まえて、市教育委員会で「伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置基本計画骨子案」を作成し、統合対象校のPTA本部、自治会役員、保育所・幼稚園の保護者との意見交換を開催

■平成23年11月

「伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置基本計画(案)」を策定

清流日本一！



宮川と共に生きる

～ 宮川流域ルネッサンスの取り組み ～

宮川流域ルネッサンス協議会 (☎05411)

宮川は、国が毎年実施している水質調査で、平成18年～22年の5年連続を含め、これまで10回、水質日本一に輝いています。

日本一の清流として流域の人々に親しまれてきた宮川をこれからも守り育てていくため、流域の各地域では、さまざまな取り組みが行われています。

宮川流域ルネッサンス協議会では、県と宮川流域7市町、国の関係機関、協議会活動に賛同する個人・団体・法人が協働し、「宮川と共に生きる」をテーマに、地域の豊かな自然・歴史・文化を保全・再生しながら、地域の活性化を図る事業を推進しています。

宮川流域エコミュージアム

地域住民が主役となって自然・歴史・文化などを守り伝えるとともに、人々の交流や学びの場を提供することを目指し、流域を対象に「エコミュージアム」という考え方を取り入れ、さまざまな取り組みを行っています。

エコミュージアムの行事は、年間100回以上行われていますので、ぜひご参加ください。

宮川流域エコミュージアムのホームページ

<http://miyarune.cool.ne.jp/>

エコミュージアムとは？

人々が生活に利用し、守り育ててきた自然・歴史・文化などを、それらが本来ある場所で保全し、地域全体を博物館と考え、住民自らが魅力的な地域づくりを行うことで、地域経済の活性化や地域振興を図ろうとする取り組みです。



大合町での植樹



横輪桜のお花見



横輪川で遊ぶ

宮川流域案内人
行事の様子

守ろう清流！ 宮川流域いっせいチェック

日本一の清流宮川を守り育てていくため、また、宮川への関心を高めてもらうとともに、流域が一つにつながっていることへの理解を深めてもらうため、地域住民・NPO・学校などと協働して水環境調査を行い、その結果をホームページなどで公表しています。

ぜひ、自分の住んでいる地域の川の状況をご覧ください。

宮川流域いっせいチェックのホームページ <http://www.miyarune.jp/check/index.html>

宮川流域ルネッサンス協議会市負担金〔平成23年度〕 70万円

情報コーナー

参加費などの記載のないものは無料



募集

市指定ごみ袋への

広告掲載事業者を募集

環境課(☎25543)

平成24年度・25年度の「伊勢市指定ごみ袋(大袋・中袋・小袋)」に広告を掲載する事業者を、次のとおり募集します。

- ①平成24年4月～9月
- ②平成24年10月～平成25年3月
- ③平成25年4月～9月

④平成25年10月～平成26年3月

※いずれも、おおよその掲載期間であり、店頭で販売される期間を確保するものではありません。

広告の大きさ・広告料 下表のとおり

広告掲載位置 ごみ袋の表面中段に2枠を掲載(左図参照)

※ごみ袋包装用外袋には掲載されません。

募集枠数 ①～④の期間ごとに大袋・中袋・小袋2枠ずつ

申し込み ①～④の間ごと

とに定められた締め切り日

(①は平成24年1月10日(火))

までに、申込書を同課へ

※詳しくは、同課へ問い合わせるか、市のホームページをご覧ください。



掲載イメージ

広告の大きさ・広告料

	大袋	中袋	小袋
広告の大きさ	縦120mm 横180mm	縦100mm 横150mm	縦80mm 横120mm
広告料	10万円	4万円	2万円
印刷予定枚数	1,130万枚	360万枚	170万枚

※印刷予定枚数は、①～④の間を通して印刷を予定している枚数です。

公共職業訓練生を募集

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 南伊勢職業能力開発促進センター
(☎3121)

募集科 ①電気設備科、②

住宅リフォーム技術科

訓練期間 平成24年2月21

日(火)～8月9日(木)(土曜日・

日曜日・祝日を除く)

訓練場所 ポリテクセンタ

ー南伊勢(小俣町明野68

5)

対象 再就職を希望し、公共職業安定所に求職申し込みをしている人

訓練内容 ①電気工事の基本的な技術・技能および自動制御装置の製作・保全技術の習得、②コンピュータ

ーを利用した文書・図面の作成、住宅構造部材の加工・組み立て、内外装施工・リフォーム施工の技術・技能の習得

定員 ①20人、②15人

※受講料は無料ですが、教材費・作業服代が必要となります。

※平成24年1月11日(水)・25

日(水)、午前9時30分から、

説明会を開催します。

陸上自衛隊高等工学校生徒を募集

自衛隊三重地方協力本部伊勢地域事務所(☎238800)

応募資格 15歳以上17歳未

満の人

受け付け期間 平成24年1

月6日(金)まで

平成24年4月入学

放送大学学生を募集

放送大学三重学習センター

(☎津059・2333・1170)

種類 ①全科履修生(大学卒業を目的とする)、②選科履修生(興味のある科目を1年間学ぶ)、③科目履修生(興味のある科目を半年間学ぶ)

対象 ①18歳以上で、高等学校卒業または同等以上の

人、②③15歳以上の人

学習方法 自宅のテレビ

(BSデジタル放送・ケー

ブルテレビ放送)または同

センターのDVDなどで授

業を視聴

募集期限 平成24年2月29

日(水)まで

※入学試験はありません。





催し物

観光文化会館自主事業

千住真理子

ヴァイオリン・リサイタル

〜ヴァイオリンが歌つ〜

美しき心のふるさと〜

観光文化会館(☎25105)

とき 平成24年3月11日(日)、
午後2時〜(開場は午後1
時30分)

ところ 観光文化会館

入場料 2500円(全席
指定)

※就学前の子どもは入場で
きません。

※入場券は、12月17日(土)・
午前9時から、同館事務所・
喫茶アイドル・村井楽器本
店・村井楽器伊勢店などで、
午前10時からチケットぴ
あ・エムズネット(三重県



文化会館WEBチケットサ
ービス)で販売します。

チャリティーコンサート

ミュージック

コミュニケーション

いせ市民活動センター

(☎4385)

音楽を通して、東日本大
震災の被災地復興支援を呼
び掛けます。

とき 12月17日(土)、午後7
時〜9時

ところ いせ市民活動セン
ター北館(いせシティプラ
ザ)・1階ホール

内容 地元で音楽活動をし
ているアマチュアバンド4
組(三日坊主、中嶋康孝、
RYU-01&カワノモト
ム、141GospelC
hoir)によるコンサ
ート
※被災地復興支援のための
募金箱を会場内に設置しま
すので、「ご協力をお願いし
ます。」



健康の日における啓発事業

簡単!

冬野菜でバランス食

〜適正カロリー、

バランスを身につけよう〜

健康課(☎2435)

健康を維持するためには、
適量を食へることが大
切です。この機会に、あな
たの適量を学び、生活習慣
病を予防しましょう。

とき 平成24年1月11日(水)、
午前10時〜午後1時

ところ 小俣保健センタ
ー・2階調理室

対象 市内在住の人
内容 適正カロリー・バラ
ンス食についての講話、調
理実習「簡単!冬野菜でバ
ランス食」
定員 30人(先着順)
持ち物 エプロン、三角巾、
調理実習費300円
申し込み 電話またはファ
クスで同課(☎0683)

転倒骨折予防教室

(2日間コース)

健康課(☎2435)

年を重ねるとともに足の
衰えを感じ、「転びそうに
なった」という経験はあり
ませんか。

講義や実技などを通して
転倒骨折予防について学
び、転ばないための体づく
りを目指します。

とき 平成24年1月11日(水)、
25日(水)、午前10時〜正午

ところ ハートプラザみその
対象 市内在住の65歳以上
の人

内容 転倒骨折予防につい
てのお話、ストレッチ、健
脚度測定、筋力トレーニング
など
定員 20人程度
持ち物 運動のできる服
装、飲み物
申し込み 電話またはファ
クスで同課(☎0683)

文化講演会

高齢者の雇用・就業を
支援するための

社伊勢市シルバー人材センター

(☎6915)

60歳以上の高齢求職者を
対象に、健康で生きがいの
ある生活を支援するために
講演会を開催します。

とき 平成24年1月17日(火)、
午後1時30分〜3時30分

ところ 生涯学習センター
いせトピア・3階研修室
対象 60歳以上の高齢求職
者

内容 講演「生きがいを持
って生きるー生きる知恵を
次世代にー」三浦美恵さん
(森守クラブ代表)

定員 35人(先着順)
申し込み 12月20日(火)〜27
日(火)に同センターへ

予算額(平成23年度)

9万2千円(10回分)



いせファミリー・サポート
センター交流会

親子で簡単な

おやつを作ろう

いせファミリー・サポート
センター(☎055692)
子ども課(☎05561)

とき 平成24年1月21日(土)

午前10時～11時30分

ところ ハートプラザみそ
の・栄養指導室

対象 小学生以下の子ども
とその保護者(市内に在住
または通勤している人に限
る)

※子どもも保護者も、複数
人参加できます。



内容 親子で簡単なおやつ
(黒糖ついろ、野菜たっぷり
米粉のケーキ)を作りま
す

講師 馬場啓子さん(三重

中京大学特別研究員)

定員 12組(先着順)

申し込み 12月20日(火)・午
前10時から、電話・ファク
スで同センター(FAX056
79)へ

明るい選挙啓発ポスター
作品展示会

三重県選挙管理委員会

(☎津059・224・2172)

とき 12月16日(金)～19日(月)

ところ イオンモール明
和・1階

内容 三重県の審査入賞作
品25点(うち4点は伊勢市
内の中学生の作品)の展示
入賞者

・特選：橋本紗弥子さん

(倉田山中3年)、加田平彩

夢さん(豊浜中3年)

・入選：川邊夢乃さん(北

浜中1年)、岩井まどかさ

ん(皇學館中2年)



お知らせ

平成23年10月分からの

子ども手当を支給

子ども課(☎05561)

平成23年10月分以降の子
ども手当を、次のとおり支
給します。なお、支給を受
けるためには申請が必要で
す。

対象児童 中学3年生まで
の子ども

支給月額 3歳未満：1万
5000円、3歳～小学生
：1万円(第3子以降は1
万5000円)、中学生：
1万円

支給日

・平成23年10月～平成24年
1月分(4カ月分)：平成24
年2月10日(金)

・平成24年2月～3月分
(2カ月分)：平成24年6月
8日(金)

※2月の支給分は、申請書
の提出時期により6月の支
給となる場合があります。
申請方法 申請書、印鑑、

申請者の健康保険証、申請
者名義の振込口座の分かる
物を持参し、同課・各総合
支所生活福祉課・各支所へ
申請時期と支給対象月

申請時期と支給対象月

・平成23年10月1日の時点
で受給資格がある人：平成
24年3月31日までに申請を
すれば、10月分から支給
※平成23年9月時点で受給
資格があると思われる人に
は、案内・申請書・返信用
封筒を送付しました。(公
務員の人は、職場での手続
きとなります)

・平成23年10月1日の時点
で受給資格がない人(10月
1日以降に子どもが生まれ
た場合や転入した場合など)
：申請した月の翌月分
から支給(ただし、出生日
や転出予定日(異動日)が月

末に近い場合は、申請が翌
月になっても異動日の翌日
から15日以内の申請であれ
ば、申請月から支給します

手当からの徴収

保育料や学校給食費など
を、子ども手当から徴収す
ることが可能になりました。

予算額(平成23年度)
26億9360万円
(うち国・県からの収入24
億2016万6千円)



◆伊勢やすらぎ公園新墓所販売中(もくせい)

①すべて東向き ②通路が自然土舗装

③やすらぎ公園のどまん中(4つの駐車場に近い)

④2m23万円より ⑤建墓期間制限無し

お問い合わせ(☎2815390) 中村石材店

伊勢市上地町2691-48伊勢問屋センター内

広告

視覚障がい者の皆さんへ
防災CDを配布

障がい福祉課 ☎055558

視覚障がい者の皆さんと、その家族のための防災の手引き「伊勢市『耳より防災』」とつさの事態に備えて安心〜(CD版)を、消防署の協力により作成しました。

手引きは、同課・各総合支所生活福祉課で配布していますので、ぜひご利用ください。



防災に関することが、分かりやすく聞けるようになっていました。
いざというときに備えて安心できるよう、役立てていただければと思います。

狭あい道路の拡幅整備
用地の寄付に助成

用地課 ☎05562

市では、安全で安心して暮らせるまちづくりのため、建築基準法に定められている4mの道路幅員の確保を進めています。

狭あい道路の拡幅整備のため、後退用地を寄付していただいた場合、測量・分筆費用に対する助成を受けられます。

対象道路 市道認定されている道路で、建築基準法第42条第2項に該当する道路(幅員4m未満の道路)

助成内容 道路中心線から2m後退した後退用地を分筆して市へ寄付した場合、上限15万円を助成

※2方向以上対象道路に面している土地の場合は、助成金に加えて上限50万円の報償金を支給します。

※一部対象にならない場合があります。詳しくは、同課へ問い合わせてください。

予算額(平成23年度)
630万2千円(うち国補
助金275万円)

伊勢湾フェリー&
豊橋カレーうどん

行政経営課 ☎05510

市では、鳥羽伊良湖航路の存続に向け、関係市町や団体などが連携して組織する協議会に参加し、取り組みを進めています。

この取り組みの一環として、豊橋市が、伊勢湾フェリーの利用促進とご当地グルメの消費拡大を目的に、次の企画を実施します。

実施期間 平成24年2月29日(水)まで

実施内容

・スタンプを集めて割引：
伊勢湾フェリー乗船時と豊橋カレーうどん食事時にスタンプを押してもらい、両方のスタンプがそろうと、食事代または乗船代から500円が割引されます

・フェリーの半券で割引：
豊橋市内の5施設で伊勢湾フェリー乗船券の半券を提示すると、割引を受けることができます(左表参照)

※詳しくは、豊橋市政策企画課 ☎0532・51・2182へ問い合わせるか、伊勢湾フェリー(株)、市役所行政経営課などにあるチラシをご覧ください。



※1枚の半券で各施設1回ずつ、半券に記載されている人数分の割引が可能。

割引を受けられる施設

施設名	割引内容
豊橋総合動植物公園 (のんほいパーク)	入園料半額
自然史博物館大型映像	観覧料半額
こども未来館ココニコ	入館料半額
二川宿本陣資料館	入館料半額
アクアリーナ豊橋 (アイススケート)	貸し靴無料

片付け仕事 不用品の処分 家具移動
タンス1本から

引越のことなら 地元の当社に おまかせ下さい!!!

見積り無料

商店・会社の専属車も、ご相談に応じます。

0120 FreeDial **0120-28-3001**

引越 宅急便 緊急荷物 ☆一個の荷物から集積致します。

TSUTA TRANSPORT (有) つた運輸

伊勢市小俣町宮前704の3 TEL.(0596)28-3000(代)

広告

平成24年1月4日～

おかげバスの一部ルートでダイヤを改正

交通政策課 (☎215593)

山田赤十字病院の移転に伴い、また、利用者の利便性向上を図るため、平成24年1月4日(水)から、おかげバスの一部ルートでダイヤを改正します。

おかげバスの時刻表は、これまで「広報いせ」と同時配布していましたが、今回から全戸配布をせず、バス車内やルート沿線の公共施設やショッピングセンターなどに設置します。時刻表の設置場所など詳しくは、交通政策課へお問い合わせください。

ダイヤ改正の内容

◆御菌ルート

- 新しい伊勢赤十字病院にバス停を新設
- これまでの山田赤十字病院のバス停は、バスの回転場が確保できないことから廃止

◆東大淀・日赤ルート

- 新しい伊勢赤十字病院にバス停を新設
- これまでの山田赤十字病院のバス停は、前の道路へ移動し、「宮町駅東口」に名称を変更
- 近鉄明野駅前と電車の連絡のため、第1便のダイヤを変更

◆二見ルート

- 伊勢学園前にバス停を新設

※デマンドルートについては、平成24年4月にダイヤの変更を予定しています。

1日乗車券を新設

現在、別のルートに乗り継ぐ場合、乗継券を発行していますが、平成24年1月4日(水)からは乗継券を廃止し、1日乗車券を新設します。1日乗車券を利用すると、当日に限り、全てのルートが乗り放題となります。バス車内(デマンド含む)で、当日分のみ販売します。

1日乗車券の料金 大人400円、高齢者など200円
※1回の乗車運賃は変更ありません。

イベント 掲示板

このコーナーは、国・県・市または教育委員会が共催・後援などをするイベント情報を案内するコーナーです。参加費などの記載のないものは無料です。

申し込み 締め切り
2月15日号=12月28日(水)
3月1日号=1月13日(金)

時日時 所場所 対対象 内内容
定定員 料料金 申申し込み

西井葉子 クリスマスコンサート

エルブ企画
(☎080-4215-5690)

時12月25日(日)、14:30～ 所生涯学習センターいせトピア・多目的ホール 内伊勢市出身ピアニスト・西井葉子さんが、クラシックの珠玉の名曲とともに贈るクリスマスコンサート 定300人(先着順) 料一般3,000円、高校生以下2,000円

災害時の障がい者・ 高齢者生活支援講習

二見ひまわりの会・浜条さん
(☎090-1982-2858)

時平成24年1月16日(月) 9:30～ 所二見老人福祉センター 内災害時に要援護者を支援する際に役立つ知識や支援技術について学びます(講師:富内直美さん〔日本赤十字社〕) 持ち物風呂敷1枚、筆記用具、軽装

二見ふれ愛マラソン 二見ふれ愛マラソン実行委員会・奥野さん(☎090-8958-0268)

時平成24年1月29日(日)(受け付け8:00～・開会式9:00～〔荒天の場合は中止〕) 所二見グラウンド～二見浦海岸沿い 種目①小学1・2年生…1.5km、②小学3・4年生…1.5km、③小学5・6年生…2km、④中学生…4km、⑤親子ジョギング…1.5km 対①～④市内の小・中学生、⑤市内の小学生とその保護者 定①②③各60人程度、④120人程度、⑤60組程度 申平成24年1月10日(火)までに、申し込み用紙を二見公民館へ
※申し込み用紙は、市内の各小・中学校と二見公民館にあります。



伊勢市教育振興基本計画(案)への意見を募集

教育総務課(☎27875)

市教育委員会では、これからの時代における伊勢市の教育の総合的かつ計画的な推進を図るための新たな指針として、「伊勢市教育振興基本計画」の策定を進めています。

この計画は、中長期的な視点から、伊勢市の教育の目指すべき姿と、その実現に向けた施策の方向性を示す基本指針で、社会全体で教育の向上に取り組むためのよりどころとなるものです。

このたび、計画の素案がまとまりましたので、次のとおり意見を募集します。

募集期間 12月15日(土)～平成24年1月16日(日)〔必着〕

提出方法 住所・氏名・電話番号・意見を記入(様式は自由)し、直接または郵送・ファクス・Eメールで教育総務課(〒519-0592 小俣町元町540、FAX 238641、アドレス kyo-soumu@city.ise.mie.jp)へ

案の閲覧 計画案は、意見募集の期間中、次の場所でご覧いただけます。
また、市のホームページにも掲載します。

教育総務課、総務課、市役所本館・1階市民ホール、各総合支所地域振興課、各支所、伊勢図書館、小俣図書館、生涯学習センターいせトピア、二見生涯学習センター、いせ市民活動センター、市営庭球場、小俣総合体育館、御園B&G海洋センター

伊勢市スポーツ推進計画(案)への意見を募集

生涯学習・スポーツ課(☎27891)

市民誰もが、それぞれのライフステージで、そのニーズに合ったスポーツを楽しめるよう、スポーツ推進を図るための基本指針として「伊勢市スポーツ推進計画」の策定を進めています。

このたび、計画の素案がまとまりましたので、次のとおり意見を募集します。

募集期間 12月15日(土)～平成24年1月16日(日)〔必着〕

提出方法 住所・氏名・電話番号・意見を記入(様式は自由)し、直接または郵送・ファクス・Eメールで生涯学習・スポーツ課(〒519-0592 小俣町元町540、FAX 238641、アドレス sports@city.ise.mie.jp)へ

案の閲覧 計画案は、意見募集の期間中、次の場所でご覧いただけます。
また、市のホームページにも掲載します。

生涯学習・スポーツ課、総務課、市役所本館・1階市民ホール、各総合支所地域振興課、各支所、伊勢図書館、小俣図書館、生涯学習センターいせトピア、二見生涯学習センター、いせ市民活動センター、市営庭球場、小俣総合体育館、御園B&G海洋センター

伊勢市健康医療ダイヤル24



0000-000-000 (通話料無料)

心や体の健康などについて、医師・看護師・保健師などが年中無休・24時間体制で電話相談に応じています。

問い合わせ 健康課(☎272435)

※本サービスは、民間業者に委託をして運営しています

広報いせ 第83号

発行日/平成23年12月15日

発行/伊勢市

編集/情報戦略局広報広聴課



伊勢市
携帯サイト

伊勢市役所

検索

〒516-8601 伊勢市岩淵1丁目7番29号
TEL 0596-21-5515 FAX 0596-22-9699
パソコン <http://www.city.ise.mie.jp>
携帯 <http://www.city.ise.mie.jp/m/>
Eメール ise-koho@city.ise.mie.jp
印刷 千巻印刷産業株式会社

「広報いせ」では、財源を確保するため、一部のページに企業広告を掲載していますが、これらは市が広告主や商品を推奨するものではありません。